



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 テンアライド 株式会社
コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 飯田 永太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 加藤 慶一郎

TEL 03-5768-7490

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,278	164.6	367		124		139	
2022年3月期第1四半期	861	17.2	1,042		589		606	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 134百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 600百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.00	
2022年3月期第1四半期	22.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,489	1,909	25.3
2022年3月期	7,432	1,977	26.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,898百万円 2022年3月期 1,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響について、適正かつ合理的な算出が困難であることから、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	28,567,727 株	2022年3月期	27,960,727 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	427,007 株	2022年3月期	427,007 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	27,837,587 株	2022年3月期1Q	27,533,927 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(A種類株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	71,726.00	71,726.00
23年3月期(予想)	—	—	—	70,000.00	70,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(B種類株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	30,136.99	30,136.99
23年3月期(予想)	—	—	—	40,000.00	40,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出・延長等による各種行動制限が解除されたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や急速な円安の進行等により、原材料・エネルギー価格が高騰し、あらゆる物価が急上昇するなど先行きの不透明感が払拭できない状況にあります。

特に外食産業においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた各種行動制限の緩和が進んだものの、在宅勤務の増加や宴会の回避等、消費者のライフスタイルや行動態様が大幅に変化しております。加えて資源の高騰や円安に伴う物価の上昇により、原材料費をはじめ人件費や水光熱費等の様々なコストの上昇が懸念されております。このため、厳しい経営環境は依然として継続している状況であります。

当社は、「食を通して「驚き」と「感動」を」という企業理念を体現するために、良質な食材等の仕入、低価格による提供、人材教育、衛生管理を徹底してまいりました。

また、消費者ニーズの変化に対し、弁当等のテイクアウト販売、宅配サービス、セントラルキッチンにおけるオリジナル製造品の外部販売（スーパー等の小売業者向け販売、楽天による通信販売、自社ホームページによる通信販売「天狗キッチン」及びセントラルキッチン敷地内にある「天狗こだわりマーケット」による直接販売）等を拡充しており、小売業の売上拡大を図っております。加えて、店舗の営業についても消費者ニーズの変化に対応した業態への転換を進めると同時に、店舗オペレーションの効率化を目指した二毛作業態の開発・展開を実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期比264.6%の22億78百万円となりました。

利益面につきましては、未だ売上が十分に回復できず、営業損失は3億67百万円（前年同期は営業損失10億42百万円）となりましたが、前年の営業時間短縮等に係る感染拡大防止協力金等の営業外収益により経常損失は1億24百万円（前年同期は経常損失5億89百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億39百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億6百万円）となりました。

なお、当連結会計年度末における当社の店舗数は、「旬鮮酒場天狗」8店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」「あげてけや」含む）」31店舗、「テング酒場」36店舗、「神田屋」16店舗、「てんぐ大ホール」8店舗、「ミートキッチンlog50」2店舗の合計101店舗であります（内フランチャイズ3店舗）。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円増加し、74億89百万円となりました。この主な要因といたしましては、売掛金が32百万円、棚卸資産が26百万円、その他流動資産が29百万円増加したことに対し、有形固定資産が14百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億24百万円増加し、55億79百万円となりました。その主な要因といたしましては、買掛金が52百万円、その他流動負債が1億1百万円増加したのに対し、未払法人税等が30百万円減少したことによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて67百万円減少し、19億9百万円となりました。その主な要因といたしましては、4月に新規発行した新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ86百万円増加したことに対し、種類株式に係る剰余金の配当により資本剰余金が1億16百万円、四半期純損失の計上で利益剰余金が1億39百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が不透明であり、各種諸施策を実施しておりますがその成果を合理的に算出することが困難であるため、現時点においては業績に与える不確定要素が多く、業績予想を合理的に算定することが困難であります。そのため、2023年3月期の業績予想は未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,167,766	3,154,984
売掛金	126,441	158,769
棚卸資産	147,101	173,152
その他	249,838	279,542
貸倒引当金	△24,106	△21,795
流動資産合計	3,667,040	3,744,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,121,420	6,136,860
減価償却累計額	△5,088,117	△5,101,558
建物及び構築物（純額）	1,033,302	1,035,301
機械及び装置	1,031,137	1,029,957
減価償却累計額	△840,293	△843,354
機械及び装置（純額）	190,843	186,603
工具、器具及び備品	1,572,864	1,574,988
減価償却累計額	△1,406,157	△1,420,440
工具、器具及び備品（純額）	166,707	154,547
土地	245,103	245,103
建設仮勘定	-	116
有形固定資産合計	1,635,957	1,621,672
無形固定資産	51,569	48,393
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,820,721	1,811,020
その他	261,030	267,295
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	2,078,152	2,074,715
固定資産合計	3,765,678	3,744,781
資産合計	7,432,719	7,489,435

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,539	244,530
短期借入金	2,500,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	-	7,200
未払法人税等	42,296	11,927
その他	590,423	692,312
流動負債合計	3,324,259	3,455,969
固定負債		
長期借入金	720,000	712,800
退職給付に係る負債	1,140,806	1,138,266
役員退職慰労引当金	21,743	21,913
資産除去債務	117,963	119,822
その他	130,439	130,869
固定負債合計	2,130,952	2,123,672
負債合計	5,455,211	5,579,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	136,299
資本剰余金	9,527,195	9,496,563
利益剰余金	△7,597,073	△7,736,251
自己株式	△161,908	△161,908
株主資本合計	1,818,214	1,734,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,133	84,154
土地再評価差額金	67,295	67,295
退職給付に係る調整累計額	8,863	12,089
その他の包括利益累計額合計	159,292	163,539
新株予約権	-	11,550
純資産合計	1,977,507	1,909,793
負債純資産合計	7,432,719	7,489,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	861,000	2,278,235
売上原価	310,713	690,011
売上総利益	550,286	1,588,224
販売費及び一般管理費		
人件費	806,192	1,039,769
退職給付費用	21,988	16,448
地代家賃	339,035	375,201
その他	426,057	524,381
販売費及び一般管理費合計	1,593,274	1,955,801
営業損失(△)	△1,042,987	△367,576
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3,380	3,849
受取賃貸料	1,429	1,429
固定資産受贈益	182	351
受取事務手数料	729	1,660
雇用調整助成金	47,966	5,539
助成金収入	399,840	234,088
その他	12,036	5,923
営業外収益合計	465,565	252,842
営業外費用		
支払利息	9,429	8,931
その他	3,014	638
営業外費用合計	12,444	9,570
経常損失(△)	△589,866	△124,305
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	11,126	-
特別利益合計	11,126	-
特別損失		
固定資産除却損	2,157	197
固定資産処分損	2,201	1,895
特別損失合計	4,358	2,092
税金等調整前四半期純損失(△)	△583,098	△126,398
法人税、住民税及び事業税	23,771	12,516
法人税等調整額	△305	263
法人税等合計	23,465	12,780
四半期純損失(△)	△606,564	△139,178
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△606,564	△139,178

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△606,564	△139,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,371	1,020
退職給付に係る調整額	646	3,226
その他の包括利益合計	6,017	4,246
四半期包括利益	△600,546	△134,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△600,546	△134,931
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは同種の外食産業及びその補完的事業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。